

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	火災安全設計小委員会	主 査 名：萩原一郎 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会	委員長名：室崎益輝 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築物の火災安全を確保するために、工学的な手法を用いて設計するための基本原則や手順などをまとめる。 ・初年度： 火災安全設計の実務における問題点の抽出。 ・2 年度： 火災安全設計の基本原則の検討。 ・3 年度： 「火災安全設計の原則(仮称)」の原稿作成。 ・4 年度： 出版及び講習会の開催。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし 萩原一郎(建築研究所) 野竹宏彰(清水建設設計本部) 大宮喜文(東京理科大学) 原田和典(京都大学) 北後明彦(神戸大学) 松山賢、海老原学(東京理科大学総合研究所) 山口純一(大林組技術研究所) 峯岸良和(竹中工務店設計本部) 中村三智之(NTT ファシリテーズ) 福井潔(日建設計) 富松大基(日本設計) 名取晶子(損害保険料率算出機構) 中道明子(日本建築総合試験所)	
設置 WG (WG 名:目的)	性能設計ケーススタディ WG: 高齢者施設の火災安全設計を行い、 2007 年 6 月に開催される国際シンポジウムに論文発表。 設計火災性状 WG: フェーズごとの火災性状を定量的に記述する手法の検討。 火災荷重 WG: 火災荷重とその配置によって定まる火災規模の知見から、 表現方法の標準化を検討。	
2006 年度予算	147,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/bouka/aij_bk/2/aijkassweb/frame4.htm

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1 .(名称) 高齢者福祉施設の性能的火災安全設計 - 日本と諸外国のケーススタディ 参加者数 70 名 (資料名) 高齢者福祉施設の性能的火災安全設計 - 日本と諸外国のケーススタディ 2 .(名称) 6th International Conference of Performance-Based Codes and Fire Safety Design Methods 参加者数 200 名 (資料名) Fire Safety Design of a High-rise Senior Residential Complex - Japan's Case Study -
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1 . 実務上の問題点について委員からの報告を継続した。 2 . 性能設計ケーススタディの成果を国際研究集会などで発表した。
委員会活動の問題点 ・課題	1 . 小委員会の開催回数をもう少し増やすよう努力が必要である。

